

1 町長の3期目の総括と4期目への考えを問う

町長は、3期11年半にわたり町政のかじ取りをされてきました。

この間、開成町の人口は、増え続け、県内市区町村において人口増加率が最も高い町となりました。人口の増加に伴い、子育て世代への施策として、開成幼稚園の三歳児保育の開始、民間保育所の新規設置や定員増への支援、学童保育所の新設など多岐にわたる整備を実施されました。

また、小田急開成駅の急行停車の実現、都市計画道路和田河原開成大井線紫水大橋の供用など生活及び産業の基盤となるインフラ整備を行い、誰もが住みたい、住み続けたいと思える取り組みをされました。

中でも、平成23年の東日本大震災を機に防災の観点から新庁舎建設を決意し、時代の先駆けとなるZEB庁舎の建設に尽力されたことは、最大の成果であります。

一方で、町民の4人に1人が65歳以上となり超高齢化社会を迎えると推計されることを踏まえ住んでよかったと思われるための政策も必要と考えます。

これまで積み上げた実績を考えますと、町民の期待は、増々膨らんでくると考えられます。

これからも、府川町長のリーダーシップによりまちづくりを進めていただくことが、最善の策であると考えます。

府川町長のご所見をお伺いいたします。